

# 行政評価制度の在り方検討に係る調査結果

## 調査の目的

札幌市の行政評価制度の問題点を洗い出すとともに、計画策定、事業の企画立案、実施、見直し・評価などの各プロセスにおけるEBPMの活用可能性を含め、効果的な行政経営マネジメントツールとしての行政評価のあるべき姿について、改善の方向性を明らかにするため調査検討を行う。

## 調査の概要

本調査は、以下の手順で実施した

- 現状把握
  - ・行政評価調書を作成している担当課へのヒアリング
  - ・行政評価と関係が深いと考えられる企画、財政セクションへのヒアリング
  - ・行政評価委員会（外部評価）委員へのヒアリング
  - ・現行の行政評価調書の確認
- 情報収集
  - ・他自治体の事例収集（EBPMも含む）
  - ・行政評価に高い知見を有する外部有識者5名へのヒアリング
- 課題の整理
  - ・現状把握を踏まえ、現在札幌市の行政評価が抱えている課題を整理
- EBPMの試行実施
  - ・現在の行政評価調書等を元に、ロジックモデルの作成を試行
- 改善の方向性
  - ・以上現状把握、課題の整理、EBPMの試行実施を踏まえ、改善の方向性を整理した

### 本調査の概要

#### 札幌市の行政評価制度

調査結果を踏まえ、効果的な行政経営マネジメントツールとするための提言を実施

行政評価における課題を明らかにし、改善の方向性を提案

行政評価調書に関する調査、各原課へのヒアリング調査等

他自治体との比較検証

EBPM等をどのように貴市に取り入れていくか提案（EBPMが効果のある事業にスポットで活用、全庁実施評価にロジックモデルを導入等）

EBPM等の考え方や活用事例を整理

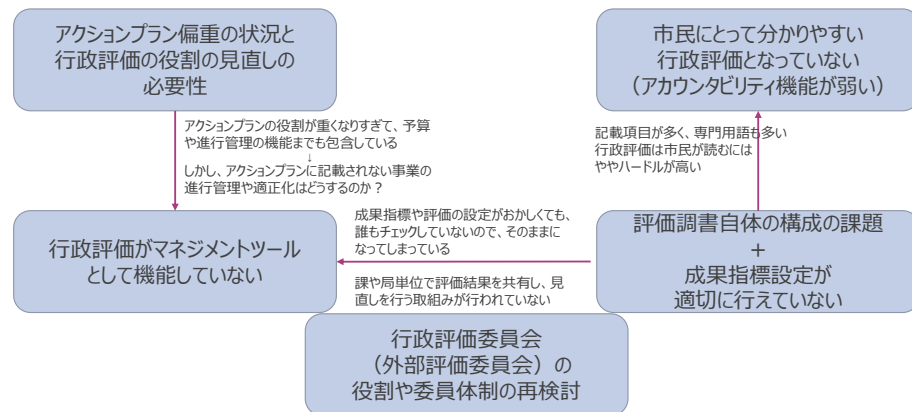
有識者・先進自治体等へのヒアリング調査

5事例へのEBPMの実施

取組み方法を参考にする

## 明らかとなった課題

- ・アクションプラン（市における中期計画）が市政運営上非常に重視されており、またそれに対する行政評価調書に似た進行管理シートを別途作成しているため、担当課からすると、**似たような作業を複数実施しており、負担**となっている。
- ・行政評価調書の構成上、**アウトプット・アウトカム指標を関係をもって整理することが難しく**、またボリュームも多く**市民にとっても分かりにくい形**となっていた。
- ・せっかく行政評価を作成しているにも関わらず、予算要求・査定、各種計画策定の際に活用されておらず、担当課も評価調書を作成するモチベーションが落ちていた。



## 今後の改善の方向性

- 札幌市における行政評価は**自治基本条例によって位置づけられ**、そこでは**アカウントビリティを強く意識したもの**となっている。そのため、行政評価の結果を市民に分かりやすく公表することが重要になってくる。
- ・そのため、**シンプルで分かりやすい評価調書に見直しを図る**ことを提言する。
  - ・また、**ロジックモデルを参考に、アウトプット・アウトカムという事業の結果とそれによってもたらされる効果の関係性を意識し**、現状からいつまでにどのような成果を目指すのか、という目標設定とその進行管理を意識したものとする方向で検討する必要があると考えられる。
  - ・行政評価が**札幌市における事業を網羅的かつ端的に整理する唯一のツール**であることを踏まえ、現在対象外となっている1000万円未満、A判定の事業も含めてすべての政策的経費に関する評価を実施する方向で検討することを提言する。
  - ・アクションプランとの関係については、そのあり方も含め企画部門と包括的に検討する必要があると考えられる。
  - ・行政評価委員会においては、**より評価の中身や成果指標に関してもチェックを行う形とし**、それを対応できるべく**評価を専門とする有識者の追加**を提言する。
  - ・**市長やマネジメント層がより評価を活用し**市内のプレゼンスを高めていくことも重要であると考えられる。